

和道流空手道連盟 第一回審判講習会の開催結果

平成26年6月7日（土）神奈川県横浜市「岩崎学園体育館」において、和道流空手道連盟第一回審判講習会が開催された。

講習会は、組手の部・形の部に分けて、組手の部は濱口組手審判部長（連盟常任理事）、形の部は押田形審判部長（連盟副理事長兼事務局長）の指導の下に行われた。

今回の講習会は、和道流の目指す「武道としての空手技術向上」という目的達成のために開催されたものであるが、大塚博紀最高師範にもご出席いただき、北は北海道から南は九州佐賀県まで総勢80名余りの参加者が集い、熱気あふれる講習会となった。



組手講習に協力の少年拳士も一緒に集合写真



最高師範挨拶

○ 組手講習会

組手講習会は、全空連組手審判ルールを基本として、協力参加の選手による試合を裁くことにより審判技術の向上を目指した。

例年の全国大会では、招待審判、協力審判の応援をいただかなければ大会運営が覚束ないという状態が続いており、今後、連盟内で組手審判を育成する必要性に迫られていることから、来年以降の講習会では、組手審判の育成という目標も踏まえつつ運営していくことが求められる。

支部長各位の協力を期待するところである。



実戦さながらの試合を展開する少年拳士



次の試合に備えて待機する拳士達

○ 形講習会

形講習会は、瀧先生（技術審議員）、原島先生（技術審議員補）に全体を見ていただき、坂巻先生、寺田先生、浅野先生、井上先生、押田先生の各技術審議員補の方々が、平安初段から平安五段までをそれぞれ専属に受け持ち、講習生が初段から五段までをローテーションで回るといった方式がとられた。

そして、解釈違いや説明不足の点については、最高師範が適宜巡回しながら指導修正を行うということで、実りある講習会となった。



全体を指導する原島先生



平安初段（押田先生指導）



平安二段（浅野先生指導）



平安三段（坂巻先生指導）



平安四段（寺田先生指導）



平安五段（井上先生指導）

今回は、時間の都合で平安の形のほか、最後にナイハンチを稽古して終わったが、来年は、クーシャンク、セイシャン、チントウまでも、しっかり稽古できるようにしたいと考えている。